

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2010年03月03日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000056"/>	整理番号 <input type="text" value="11417"/>	担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>
表 題	<input type="text" value="超音波照射を用いた微細粒子の合成"/>		
技術分野	<input type="text" value="無機材料"/>	<input type="text" value="金属材料"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="紙, ゴム, プラスチック, 建材, 金属"/>		
目 的	<input type="text" value="メガヘルツ帯の超音波を照射すると水は水柱を立て, その先端から3 μ m程度の霧を発生させる(この現象を霧化と呼ぶ)。このとき, 塩化カルシウム, 炭酸ナトリウムなどの試薬を添加しても霧化できる。本特許は, それぞれの霧を衝突させる新規な反応により炭酸カルシウムを合成することを特徴とする。"/>		
技術概要	<input type="text" value="溶液反応で微細粒子を作製するためには, 一般的な溶液反応での合成では反応場が大きいと、沈殿の生成とともに、沈殿粒子の成長が起こるため、濃度や温度の調整が不可欠であるとされている。本発明は、反応場を小さくすることにより容易に微細粒子が生成することを特徴とする方法である。すなわち、メガヘルツ帯の超音波を水中で発生させると水柱が生成し、そこから霧が生じる。この霧の大きさは3 μ m程度である。この霧中に薬品を添加することでその体積よりも小さな粒子が生成する。また、アルコールなどを用いることにより霧化された液滴の粒径をさらに小さくすることができ、それに伴いナノサイズの微細粒子の生成も容易になる。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp